

株式会社京都西川と
ユニチカトレーディング株式会社共同開発
**世界最細級^(※)綿糸 (480T 精紡交撚糸) 使用
高密度サテン織生地で仕立てた
ローズ羽毛ふとんを発表**

軽くしなやかな生地により、羽毛のふくらみをさらに引き立て
肌扱い性も向上しました。

(※) ユニチカトレーディング調べ

株式会社京都西川（本社京都市下京区 社長 高階壽史）は、主力ブランド『ローズ』の商標取得60年を迎える本年、「ローズ」ブランドの更なる強化を図るために、繊維商社ユニチカトレーディング株式会社と共同開発して、最高級ランクの超長綿スピンゴールドを使用した、精紡交撚糸 480/T 番手という大変細い紡績糸を使用した、ローズ羽毛ふとんを発表します。



【開発の背景】

羽毛ふとんは、ふんわりと空気をたくさん含み、身体にしなやかにフィットすることで保温性を発揮します。その中味のダウンのふくらみが最大限に発揮できるようにするため、軽量かつやわらかな生地が求められます。京都西川とユニチカトレーディングは、羽毛ふとん用側生地に最適な綿 100% 素材を実現すべく、開発をはじめました。

【精紡交撚糸 480/T 使用生地の生産について】

羽毛ふとんに求められる、軽くしなやかな生地を織るためには、細い糸をつくる必要があります。そのために原綿をインド南部で栽培される「スピン」種とし、この綿花の「一番、二番手摘み」を使用。ユニチカテキスタイル常盤工場（岡山県総社市）の高度な技術により、世界最細級の 480T 精紡交撚糸という大変細く糸強力が高い綿糸を紡績、この糸を緯糸に使い、毛羽の少ないシルクのような光沢感としなやかな風合いをもつサテン織生地を生産に成功しました。しかし、羽毛ふとんに使用する生地は中味が吹き出ないように高密度で仕上げる必要があります、また大変繊細で手間のかかる工程のため、1日にふとん約1枚分（7～10m）しか生産できない織物です。

※通常の羽毛ふとん生地用綿糸には、40～80番手のものを使用します。80番手の綿糸と比較して480T精紡交撚糸は約1/3の細さです。（綿糸の細さは番手で表現します。番手の数字が大きいほど細かいことを示します。）



480T 精紡交撚糸

80 番手綿糸

【生地の特長】

○軽量／羽毛ふとん用サテン織生地として約 85g/m² という、綿 100% 生地としては驚異の軽さを実現。80 サテン生地と比較して約 70% の軽さです。（軽量であることで、より羽毛のかさ高性を阻害することなく、空気層をより多く含むことができます。）

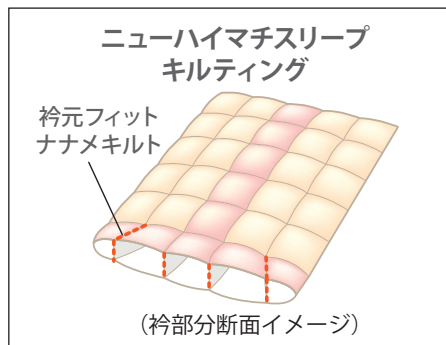
○肌ざわり（風合い）のよさ／KES 法による風合いを計測。なめらかさ・しなやかさ・ざらつき感などを数値化し他の綿素材生地と比較した結果、優れた結果が実証されました。（80 サテン生地と比較）



風合い計測（KES 法） ユニチカガーメンテックリサーチラボにて計測

【ローズ羽毛ふとんの仕様】

詰めものに使用する羽毛には、羽毛の世界的な産地であるハンガリーの羽毛供給会社、及びハンガリーゲース飼育者協会のバックアップのもと供給されるホワイトマザーゲース（フェヘールリバダウン）を充填します。ハンガリーの広大な敷地を持つ農場でゆったりと育てられたゲースから採れる高品質ダウンを活かすために、キルティングのマチ部分を高くし、ふっくらとした羽毛ふとんに仕上がるニューハイマチスリープキルティングを採用、軽くて上質なローズ羽毛ふとんに仕立て上げました。



ローズ羽毛ふとん

FEHÉR LIBA CLUB

フェヘール リバ クラブ

【商品情報】

世界最細級綿糸（480T）使用

フェヘールリバクラブ ローズ羽毛ふとん（日本製）

組 成／ふとんがわ／綿100%（480T 精紡交撚糸使用）

詰めもの／ダウン95%・フェザー5%

（ハンガリー産ホワイトマザーゲース使用）

サイズ・（中わた重量）・本体価格／

（SL）150×210cm（1.2kg）600,000円＋税

（SDL）170×210cm（1.5kg）780,000円＋税

（DL）190×210cm（1.7kg）900,000円＋税

（QL）210×210cm（1.9kg）1,080,000円＋税



■本件に関するメディアからのお問い合わせ先

株式会社 京都西川 営商企画本部 担当／久保・白鳥

〒600-8502 京都市下京区河原町松原上がる幸竹町 385

TEL 075 (351) 1351 (代表)

